

令和6年度 病虫害防除情報

令和7年3月31日
発表：福島県病虫害防除所

モモハモグリガの越冬世代の発生はやや多くなる予想です。
今後の発生予察情報に注意し、適期の防除により密度を減らしましょう。

- 1 対象作物：モモ
- 2 病虫害：モモハモグリガ
- 3 対象地域：全域

発生状況等

- (1) 令和6年9月におけるモモハモグリガの新梢葉被害の発生ほ場は、平年より高い状況でした(図1)。
- (2) また、令和6年12月実施のモモハモグリガの越冬状況は、平年より高い状況で、越冬密度が「中」、「多」の地点が確認されました(図2)。
- (3) 以上から、モモハモグリガの越冬世代の発生は、やや多くなることが予想されます。

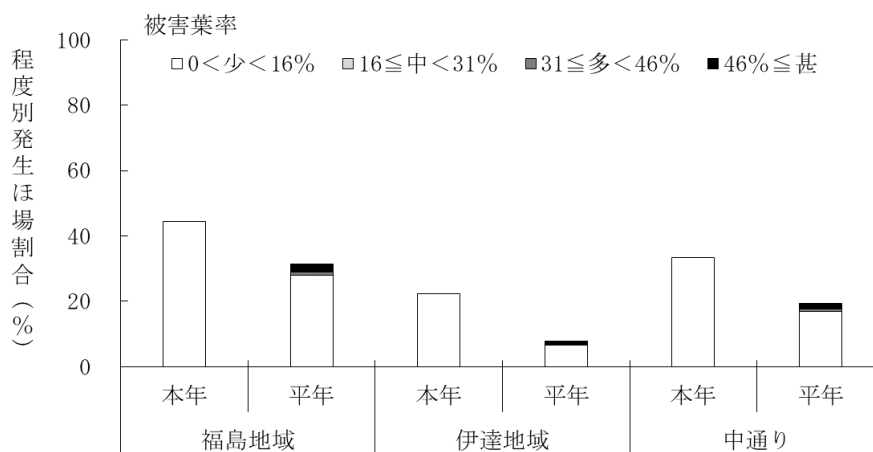


図1 モモハモグリガの新梢葉における被害発生状況
(令和6年9月調査)

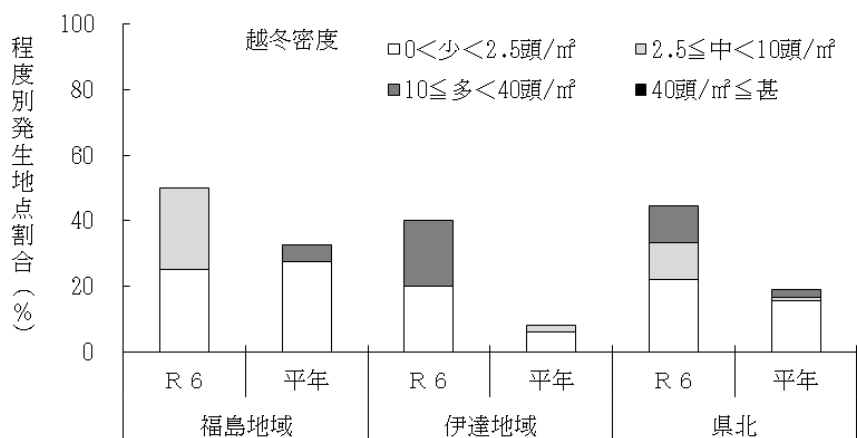


図2 モモハモグリガの越冬状況 (令和6年12月調査)

表1 モモハモグリガ防除時期の推定（令和7年3月25日現在、農業総合センター果樹研究所）

今後の 気温予測	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期
2℃高い	4月14日	4月21日
平年並	4月20日	4月28日
2℃低い	4月26日	5月4日



図3 モモハモグリガの被害葉
（令和5年5月撮影）

防除対策

モモハモグリガの重要防除時期は、落花10日後頃（第1世代幼虫防除適期）です。防除にはモスピラン顆粒水溶剤 4,000倍を散布しましょう。本剤は蚕毒使用規制対象農薬なので、散布に当たっては十分注意してください。

農業総合センター果樹研究所における発生予測（令和7年3月25日現在）では、今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、第1世代の防除適期は4月5半旬頃と予測されています（表1）。なお、防除に当たっては、今後発表される果樹情報などの最新の情報を参照するようにしてください。

多発した令和5年は、春の気温が高かったため、越冬世代の発生が早まり、第1世代幼虫防除適期の防除タイミングが合わず、5月の被害葉の発生（図3）が多くなりました。今後の気象に留意して、防除時期が遅れないように注意しましょう。なお、薬剤を散布する際は、訪花昆虫への影響に留意し、事故防止に努めてください。

※農薬の登録情報は、令和7年3月26日現在です。農薬を使用する際は必ずラベルを確認して、使用基準を遵守してください。

●情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727